



七州の覇

安積高校進路だより

平成29年3月15日発行
安積高校進路指導部

0学期 受験はもう始まっている！！

新学期の始まりは4月ではない。3年はもう始まっている。いわゆる春休みは1学期の準備の期間だ。授業開始は4月12日。ほぼ1ヶ月先だ。その間、弱点補強をし、予習を進めることが重要だ。志望校、志望学部、志望学科を真剣に考えること。進路希望の実現には、毎日の学習の積み重ねしかない。学習とは「覚える」ことではない。理解した上で、問題を解き、定着させることが求められる。

1年生にとっても、この1ヶ月は重要だ。2年のカリキュラムは座学が中心になる。1年では5教科の授業は24時間だったが、2年では31時間になる。予習復習は1年の時とは比べものにならないことがわかるだろう。春休みに1年の学習事項をしっかりと身につけて2学年の学習に臨もう。

合格者インタビュー 東京大学理科Ⅱ類に合格したS君

東大を意識したのは「教え子で最初の東大生になってほしい」という中学の担任の言葉だった。1年の時には部活に入らなかったが、友人が楽しそうだったからという理由で2年の時演劇部に入部した。部活は楽しくて、引退してから高3の夏に勉強へ切り替えができたのでよかった。

各教科の勉強法は、極めてオーソドックスだ。数学は予習をやり、青チャートやフォーカスで復習した。英語は先ず単語と文法をキクタンやデュアルスコープで押さえた。長文は高2終わりごろから、作文の添削指導はセンター前の冬休みから始めた。(※作文の添削指導はもっと早くから始めるべきだった。)国語は古文単語とパンダ本と週末課題をちゃんとやれば充分。理科はセンサーやセミナー、3年の重要問題集をしっかりとやればいい。日本史は担当の先生の授業と課外。センター過去問を20年解いたら、「狙われる場所」と授業で指摘されたところが自分でも実感できた。

中学、高校は塾に通わず、安積の授業、課外で東大に合格できる。センター後の数学の講座では担当の先生がいろいろ類題を出してくれたので解けるようになった。理科の課外は全部受講し力がついた。2次試験対策の講座でもいろいろな問題に触れて、穴をつぶすことができた。自分一人で勉強しては、どうしても偏ってしまう。東大は総合力を問われるので、不得意科目を作らないことが大切だ。

大学では薬学を勉強したい。しかし、東大の教養学部でいろいろ勉強して、世界が変わって志望が変わるかもしれないが、希望したものを選べるように勉強したい。

後輩へのアドバイスは、「早め早めに大学を意識して勉強に本腰を入れること。模試を受けっぱなしにしないで、できなかった問題を解き直す。間違った問題を定着させ、穴をつぶしていくこと」だった。模試の東大の判定はずっとDだった。センター試験では初めてA判定がでた。記述模試とのドッキングではC判定だったが、合格最低点から少しでもプラスになれば受かると思って、できる問題から攻め、周りを意識せず自分は自分と思い頑張った。

130期生 国公立大学合格115名

3月12日にすべての国公立大学の前期試験の合格発表があった。本校からは、東京大学理科Ⅱ類に2名、東京工業大学2名、京都大学農学部1名、一橋大学経済学部1名が合格した。一橋大学の合格は4年ぶりである。また、東北大学には、AO2名の合格を含め、文系学部（文経法教）に10名、理系学部（理工医歯薬農）に14名、合計24名が合格した。その中に、医学部医学科に男女1名ずつを含む。名古屋大学、大阪大学にもそれぞれ1名ずつ合格した。（私立大学の合格状況は、4月にお知らせします。）

国公立大学の合格者数

3月12日現在

大 学 名	合格者数
東北大学	24
福島県立医科大学（医、看護）	9（6、3）
山形大学	8
福島大学	6
千葉大学	6
東京学芸大学	6
会津大学	6
筑波大学	5
新潟大学	5
宇都宮大学、群馬大学、埼玉大学	各4
横浜国立大学、首都大学東京	各3
東京大学、東京外国語大学 東京藝術大学、東京工業大学 新潟県立大学	各2
弘前大学、岩手大学、お茶の水女子大学、 東京農工大学、一橋大学、名古屋大学 京都大学、大阪大学、宮崎大学、 岩手県立大学、国際教養大学、 群馬県立女子大学	各1
合 計	115